

# VOC's *Hofreizen*: Japan, India and Persia

オランダ東インド会社の「宮廷旅行」  
—日本、インド、ペルシア—

March 29, 13:00 - 16:00



東京大学国際学術総合研究棟  
1階文学部3番大教室

University of Tokyo, International Academic Research Bldg. 1 F  
& Zoom Online Meeting

● ヒド・ファン・メールスベルヘン Guido van Meersbergen

ウォーリック大学 Warwick University

Comparing *Hofreizen*: Perspectives from Mughal India

● 大東敬典 Norifumi Daito

東京大学史料編纂所 University of Tokyo, Historiographical Institute

*Hofreizen* to Persia: Environments and Cooperation

● レナルト・ベス Lennart Bes

ライデン大学 Leiden University

*Hofreizen* in South India as Windows to the Power of Indian Courtiers

● Chaired by Norifumi Daito







# VOC's *Hofreizen*: Japan, India and Persia

## オランダ東インド会社の「宮廷旅行」—日本、インド、ペルシア—

HMC主催セミナー「オランダ東インド会社の「宮廷旅行」—日本、インド、ペルシア—」をご案内いたします。

長崎出島のオランダ東インド会社商館長一行が江戸に赴き、将軍に拝謁し貿易許可の礼を述べ、献上品を呈する、いわゆる「江戸参府」は、近世日本の対外関係を規定する主要行事の一つとして精緻な研究が積み重ねられてきました。その一方で、アジアの他の地域においても会社使節による政治的支配者の「宮廷」への旅が行われたことについては、十分に検討されてきませんでした。

アジア各地の会社の「宮廷旅行」を比較する試みは、これまでオランダを中心に海外の研究者によって行われてきました。近年では、異文化理解、物質文化の問題としても論じられています。しかし、そうした研究の多くに共通する視座は、オランダの「外交」であり、主たる関心は、オランダ（ヨーロッパ諸国）のアジア進出の成否および性格を明らかにすることにあります。

「江戸参府」「外交」という日蘭両国の伝統的な問題関心や研究成果を踏まえつつ、今後どのような観点から比較研究を行うことができるでしょうか。本セミナーは、イギリス・ウォリック大学から、ムガル朝インドを対象に新たな外交史研究を模索するヒド・ファン・メールスベルヘン氏をお招きし、課題と展望をお話しいたします。また大東敬典（東京大学史料編纂所）、レナルト・ベス（ライデン大学）は、今年度ヒューマニティーズセンターの支援を受け、それぞれペルシア、インド・マラバル地方を対象に比較研究に取り組みました。その成果報告も行います。

※セミナーは英語で開催されます。

※東京大学国際学術総合研究棟文学部3番大教室  
&Zoomオンラインのハイブリッド開催です。

事前登録及び詳細はQRコードから👉

